



【令和7年度補正予算（案） 1,000百万円】

化学物質のばく露等による子どもへの健康影響を明らかにするエコチル調査において、エコチル調査を効果的・効率的に推進し、生体試料の化学分析を加速化し、科学的知見の収集および安全・安心な環境の早期実現等を図ります。

1. 事業目的

約10万組の親子の協力のもと実施しているエコチル調査において収集した生体試料について、化学分析に資する取組を加速し、化学物質による子どもの健康への影響の解明を進め、安全・安心な環境の早期実現等を図る。

2. 事業内容

○ 約10万組の親子の協力のもと実施しているエコチル調査における生体試料の化学分析に資する取組を加速化し、その影響を解明することで、安全・安心な環境の実現を目指すもの。

○ 発がん性が指摘されている**除草剤**について、国内のばく露状況および健康影響についての知見が乏しく、これらの評価・科学的知見の集積が急務であるため、これらの化学分析を行う。

○ 精神神経発達への影響が指摘されている**元素**（※）について、胎児期・小児期のばく露状況の知見が限定的であり、年齢に合わせた環境保健施策を実施するために、これらの科学的知見の集積が急務であるため、これらの化学分析等を行う。

（※）亜鉛、鉛、マンガン、バリウム、ストロンチウム、リチウム、スズ等

3. 事業スキーム

- 事業形態 交付金（運営費交付金）
- 交付対象 研究機関（国立環境研究所）
- 実施期間 令和7年度

4. 事業イメージ

● 除草剤の健康影響

健康影響評価の先行研究が乏しく、国内のばく露状況や健康影響に関する科学的知見の集積が必要

● 元素の小児期ばく露

胎児期・小児期を通じた知見が限定的であり、年齢ごとのばく露状況を把握できる乳歯分析や小児の複数時点での血中濃度などの科学的知見の集積が必要



化学物質の健康影響に関する調査研究を加速化



化学物質による子どもの健康への影響の解明が進み、安全・安心な環境の早期実現に貢献